

——— 電子楽器とアコースティック楽器の共演コンサート ———

Arts Chamber Orchestra Special Live

アーツ室内オーケストラスペシャルライブ



ナレーション: 小林 星蘭

ヴァイオリンソロ、コンサートミストレス: 小林 美恵 ヴァイオリンソロ: 石崎 桃羽 電子パーカッション: MASAKing 電子キーボード: 石黒 龍一
指揮: 高橋 宗芳 オーケストラ: アーツ室内オーケストラ 音楽監督: 三谷 温

2026. 3/14 SAT



横浜・大さん橋ホール

横浜港大さん橋国際客船ターミナル内 〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1-4

お申し込みはこちら



第1部 0歳からのコンサート ～泣いても笑っても、親子で楽しむ初めてのクラシック～



14:00開場 / 14:30開演
(15:15終演予定)
0歳から、ベビーカーでも入場可
入場無料 [要申込]

W. A. モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 KV136より 第1楽章
久石 譲:ジブリメドレー
パイレーツ・オブ・カリビ안의テーマ
オズの魔法使いより Over the rainbow 他

第2部 港の夕景と音楽の共演 ～贅沢な大人のクラシック時間～



16:00開場 / 16:30開演
(17:40終演予定)
未就学児は入場不可
入場料 [500円]

W. A. モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 KV136
J. S. バッハ:2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043
グリーク:ホルベルク組曲 Op. 40
ホルスト:セントポール組曲 Op. 29-2



毎年恒例となりました、横浜・大さん橋ホールでの『アーツ室内オーケストラスペシャルライブ』今回は2部構成となります。

第1部は、ベビーカーのままでもご入場いただける、無料の《0歳からのコンサート》。モーツァルトの他、ディズニーやジブリなど、親しみやすい名曲をお届けします。夕方からの第2部は、ワイコインで聴ける本格的なクラシックの名曲コンサート。我が国を代表するヴァイオリニスト小林美恵と、浜の風コンクール2025において最優秀賞・グランプリを受賞した新進気鋭のヴァイオリニスト石崎桃羽が共演するバッハ他、夕暮れ時の港を眺めながら、美しい音楽をゆったりとお楽しみください(第2部は、未就学児は入場不可)。



小林 星蘭

2004年9月25日生まれ 東京都出身。

2009年『カルピス』CMで芸能界デビュー。同年『サマヨイザクラ』でドラマデビュー。2010年『君が踊る、夏』で映画デビュー。

2012年『すたーふらわー』として歌手デビュー。

その後、CM・ドラマ・映画以外にも番組司会・アシスタントやナレーションなどを務める。

2018年、アニメ『若おかみは小学生!』で主役声優として、劇場版では挿入歌『ジンカンバンジージャンプ』を歌う。

現在も、女優・声優・番組ナレーションなど、多岐にわたって活動中。



小林 美恵

東京藝術大学音楽学部を首席で卒業。1990年、ロン＝ティボー国際コンクール ヴァイオリン部門で優勝。以来、国際的に本格的な活動を開始する。国内外の主要オーケストラと数多く共演する他、室内楽の分野においても活動を広げる。近年では自主企画公演も意欲的に展開しており、〈ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ全曲〉〈シューベルトの世界〉〈ブラームス ヴァイオリン・ソナタ全曲〉等、2023年には〈ラヴェルの世界〉を、2024年2月には〈モーツァルトの夢と幻〉を行い好評を博した。CDも【J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ(全曲)】等、多数リリース。美しく洗練され、またダイナミックで充実した演奏は高く評価されている。使用楽器は昭和音楽大学所有の1734年製ストラディヴァリウス。現在、昭和音楽大学客員教授、愛知県立芸術大学で後進の指導にあたる。

【公式サイト】<https://miekobayashi.com>



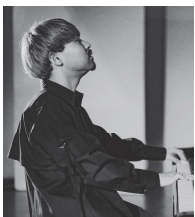
石崎 桃羽 [第2部]

5歳からヴァイオリンを始める。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校3年生。ヴァイオリンを漆原朝子、植村太郎、徳永二男の各氏に師事。第22回日本演奏家コンクール第2位。第11回デザインK音楽コンクール中学生の部第1位。SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2023高校生の部第1位。第13回デザインK音楽コンクール高校生の部第1位。第41回かながわ音楽コンクール高校生の部最優秀賞、神奈川県知事賞(大賞)受賞。



MASAKING [第1部]

電子打楽器を軸に、ジャンルを越えたコラボレーションやプロジェクトを通じて20年以上にわたり電子楽器の可能性を追求し続けている。大手楽器メーカーが生み出した数々の名機の開発にも携わる。電子楽器の活用スキルはワールドクラスであり、ICTを活用した音楽教育実践の第一人者でもある。近年はイベントプロデューサーとしても手腕を発揮し、新しい境地を切り開くアーティストとして唯一無二の存在感を放つ。



石黒 龍一

4歳よりピアノを始める。ピアノを三谷温、伊藤夢里子、津田裕也、植田克己の各氏に師事。第5回モスクワカバレフスキー国際音楽コンクールにおいて、11～12歳の部門で第1位及び、カバレフスキー賞、グランプリを受賞するなど、幼少期から受賞歴多数。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校ピアノ科を経て、東京芸術大学器楽科ピアノ専攻を卒業。大学在学中には実技試験において成績優秀者と認められ、モーニングコンサートに出演。藝大フィルハーモニア管弦楽団とグリーグのピアノコンチェルトを演奏。現在は大学の同期3人で結成した「Rhy Zoo」のメンバーとしても活動していて、演奏活動だけでなく、作編曲家としての活動もするなど、音楽家として幅広く活躍している。



高橋 宗芳

桐朋学園大学、イーストマン音楽学校でヴァイオリンを学んだ後、指揮法をニューヨーク市立大学クイーンズ校にてモーリス・ペレスに師事。またピエール・モントゥー・スクールにてマイケル・ジンボの下で研鑽を積んだ。2014年にニューヨークで室内オーケストラLucidity Chamberistasを設立し、コミュニティーに根差したオーケストラのあり方を模索する。2018年よりIMO New York協奏曲オーディションの指揮者を務めた。現在はアーツ室内オーケストラを指揮するほか、指導者として活動する。桐朋学園芸術短期大学講師。



アーツ室内オーケストラ (Arts Chamber Orchestra)

国際的に活躍する第一級の奏者と、新進気鋭の若手トップ奏者により構成された室内オーケストラ(2012年創立)。これまで指揮者には、J. メステル、M. サントルソーラ、K. マスリュク、M. パリス、大友直人、熊倉優、小森谷巧、ソリストには、G. プーレ、N. ルーヴェヴィッチ、L. レスコヴィッツ、E. イサエンコヴァ、小林美恵等を迎え各地で活動。音楽監督は昭和音楽大学客員教授・ピアニストの三谷温。